

会報 うでまくり

手をつなごう、輪を広げよう



福島県女性経営者プラザ

会長 川崎 葉子

巷では百年に一度の大不況ということ、心暗くなるニュースばかりです。大企業がバタバタと倒れる中、余波を受けて、中小企業の集まりである我がFJJPの会員の皆様も、大変な思いをしている方も多いのではないかと、同病相哀れむの感強しであります。

しかし、一部の優良企業はいざ知らず、起業の時から今日まで、かつて一度もピンチに陥る事もなく、順風満帆な航海を続けてきた人はどれだけいるでしょうか。幾度となく瀬戸際まで追いつめられ、断崖絶壁に立たされるよ

うな場面もあったのではなかったでしょうか。そこを必死で這い上がり、切り抜いてきた、そんな底力を、我々は持っているはず。一人勝ちしている企業があるという事は、考え様・やり様によっては、我々にも浮上のチャンスはあると言うことです。まさに「ピンチはチャンス」だと思います。

身を屈めて、嵐の去るのをじっと待つーそれも一つのやり方かもしれませぬ。しかし、嵐が去った後に、根こそぎ倒された草を喰んで何とか命をつなぐような生き方よりも、座して死を待つよりは「リスク」を背に負い、右手に勇氣(無謀?)、左手に叡智(怖いもの知らず?)を持って、大海に漕ぎ出すのも潔い生き方かも…と思います。

F J P

福島県女性経営者プラザ

◆ F J P の目的 ◆

- ① 女性経営者としての資質向上
- ② 次の女性たちのための風土づくり
- ③ 共同事業の開発
- ④ 地域・社会への貢献

さて、FJJPの顔ぶれも大分変わってきました。諸般の事情でやむなく会を去られる方もいれば、新たな思いで入会をされる方もいらっしゃいます。どなたも素晴らしい力をお持ちです。その会員相互の力を出し合うこと、協力し合うこと。数多い女性団体の中でこのFJJPが特異なのは、全県下エリアだということで、会員それぞれが各地域で活躍しているエキスパートだということ。そのお互いの力を貸し合えるということ。そんな願いを込めて、今年度のFJJPスローガンは「手をつなごう・輪を広げよう」にさせていただきます。

現会員諸氏が手をつなぎあつたら、今度はまた別の地域。パワーを持つ他の女性団体にも積極的に輪を広げていって、新たなパワーを貰っちゃおうというわけです。

会のまとめ役としては何とも力不足な私を、陰に陽に支えて下さる皆様に、心から感謝申し上げます。

平成21年度定例会 年間活動計画

4・24	定時総会(ウエディングエルティ講演会「女性社長としての4年間」講師：渋谷順子(渋谷レックス社長・元FJJP会員)
5・15	移動例会(保原町商工会女性部との交流会「豆っ子汁」ができるまで *「うでまくり」第3号発行
6・16	定例会(ホテルハマツ講演会(講師：キム・キョンジャ) 定例会(松深苑(岳温泉) 手作りガーデニング(観葉植物) 各委員会活動
8月	定例会(郡山市講演会「夢をかなえる経営計画」講師：赤岩茂(公認会計士)
9・18	移動例会(東京商工会議所女性会との交流会 歌舞伎鑑賞(歌舞伎座)
10月	定例会(公開講演会(ウエディングエルティ) 講師：出路優明・三田公美子 *うでまくり第4号発行
11・17	各委員会活動
12月	新年例会(茶寮おろり)
22年	新春講話(講師：佐藤知事)
1月	定例会(燦)
2月	会員に聞く(菅野憲・大沼)
3月	まとめ例会(郡山市)

河も渡らず「なんとなく」福島に入る。車窓を眺めながら「ついうっかり」いわきに着くという感じだ。東北の最南端を売りに、海・山・川の幸の豊かさに満ち、陽気である。時代に取り残された寂しさはなく、なんとなく都市顔



(いわき市) 会田 和子

継続は力なり

常磐線でいわきに帰る日々、日立を過ぎて勿来まで、たいした山も越えず大

●リレー エッセイ● 私からあなたへ



会員全員によるリレーエッセイです。日頃知られていない一面が見られるかもしれません…お楽しみに。

のいわき。そんなまちで生まれ育った私の性格は本当にいい加減というしかない。FJ Pに入会する時も、「PCに(文字)変換してもらう必要はない、どんな言葉でも書けるから」と樺様や薔薇をいとも簡単に書いてくれた三田社長に驚嘆し、我がメンターここにありと憧れてしまい、なんとなく。目的や活動イメージを明確にもっていたわけではなく、お恥ずかしい限りだ。毎月十七日と決められた会合すら実行できない。勇んで出かけた日に限って時間や場所を間違える。まち中で遭難する。ITは時間価値を創造するところに意義があるなどと言いながら、日常の時間を無駄にする。反省はしてもすぐに忘れる。結婚もしないのだから手習い位するようにという父親の遺言で、十代読書、二十代ドライブ、三十代ゴルフと、今も継続しているのが奇跡だ。四十歳を記念して始めた陶芸も楽しんでるが、先週なぜか窯に入れたのは一年前の手び練り茶碗だ。こんな調子だから、早晚会員の皆様からは忘れ去られてしまうに違いない。

継続は力なり、今の頼みは皆様の深い愛情だけである。

辺見 備さんのこと

(福島市) 大沼 範利子



先日、NHK教育テレビで、辺見さんの二時間番組がありました。「物喰う

人々」で直木賞を取った作家といえればお解りかと思えます。彼は共同通信社の記者から作家に転身した、身近な白河市の出身です。世界の特にアジアを中心にシリアスな視点で人間のL I V Eなおかしさ、悲しさ、喜び、矛盾といった、さまざま事象に、ワイドな視点で向き合い、自身が身を沈め乍ら問題提議をするしんどい生き方をされている人です。作品は何冊もあるのですが、私はまだ一冊のみでした。行間が重く、読み流せない、読後はどっと疲れて深く考えさせられる物でしたので、次に進まなかったのでしょうか。多くの作家が「策」を労して作品を造るケースが多い中で、彼の技に逃げない、逃げられない辛い伝道者の様な生き様に魅力を感じ、感心して尊敬の念で一杯になりました。一方、私は人間って素晴らしくも、立派でもなく、どうしよ

私の思い

(二本松市) 佐藤 恵子



FJ P入会二年目。何のためらいもなく未知の世界の扉を叩かせていただき

ました。同業者の集まりは多かれど、異業種の集まりに魅力を感じ入会しました。常に「井の中の蛙にならない様に」と言われ続けてきた私にとって絶好のチャンスでした。女性ならではのしなやかさ、柔軟さなど今の自分なものをひとつひとつ身につけていきたいものです。そんな思いを抱きながら毎月の例会は楽しみであり、刺激的です。すばらしい先輩方にお会いさせていただき、こんな人になりたい・近づきたいと思っております。そのためには何をすべきかをいつも考えさせられています。

個性が輝く大きなFJPの輪の中で、私も小さな光を発することができた。・・・といつの日か夢見ています。何事にもこりずに食いついてく。そして、自分をさらけ出して自己表現することは勇気がいるけれど、成長の糧であり、また相手も受け入れてくれる事なのでしょう。

あせらず、気負わず、自分らしく、FJPで成長させていただき、小さな足跡を残して行きたいものです。

出会いの嬉しさ

(双葉郡双葉町) 富沢千里



平成二十一年、世界で百年目の不況と騒がれ、目まぐるしく変化する経済情勢

が毎日のように報道されると、我々商人にとっても不安な毎日が続きます。

一昨年、後継者に本業を譲り、ホッとする間もなく、主人が十年前から第二の事業を起業し、人生益々忙しく、病気などしている暇もない忙しい毎日の私です。本業の心配も心からはなれず、果して息子達は上手くやっついてい

るのかなと横目で見ながら、つい口を出してしまう自分が嫌になる事もありますが、主人の仕事を手伝う事で、私にとつては自然の中で自由に生き、世の中に役立ち、これからの人類に貢献出来る一人になっていきたいと思うと夢がいっぱいに広がり、体に気を付けながら、主人と二人大きな夢に向かってる現状です。

FJPはもちろん、多勢の方々との出会いで、二十年も男社会の中で社長をさせていただき、素晴らしい経験をいたしました。苦労は沢山ありましたが、今思うと有り難さでいっぱいです。人に感謝をし、自分に正直に、誠実、信念を持って明るさを保ち、前向きに過ごしたことが、今の私の宝です。これからも、出会いを大切にし、周り

原稿募集

会報「うでまくり」では、第4号のリレーエッセーの原稿を次の方々をお願いしております。
 山川さん→古山さん→安齋さん→本田さん→長沢さん
 上記会員のみなさまは、2009年9月末までに、広報委員会まで原稿をお寄せ下さいますよう、よろしくお願い致します。

の人たちと共に大切な時間を過ごせる自分になりたいと思っております。

腕まくりの人生

(郡山市) 長尾千代美



穏やかな瀬戸内海を眺めながら育った私には七人の兄妹がおります。遅く

まで働いてくる両親、仕事を分担して両親の帰りを待つ私たち。「大変な時は、みんなで助け合おうんだよ!」、「二人では生きて行けないんだよ」と口ぐせのようにおじいちゃんが話しておりました。大家族で育った私には、悩みをかかえてやってくる人の事が他人事に思えず、それに応えてきた事が今の仕事に通じているような気がしております。ここに商談するスペースがあったらいい...それにはテーブルとイス、そしてお花、喫煙ルームもあった方がいいね、と提案をして仕事を頂いております。
 「人の喜びを私の仕事にしたい」というのが私の願いなのです。これからもネットワークを広げ多くの提案をする

きらめき会びつコンペ

去る3月3日のひな祭りの日に、春をもとめて、いわきで「きらめき会」を開催しました。3月というのに、とても寒い一日でした。

翌日は、一年に1~2度しか降らないという雪に見舞われ、プレーは中止になりました。(…笑)



ことで、企業の営業成績が上げられるようなお手伝いが出来ましたらと願いながら毎日過ごしております。
 ふる里を離れて二十一年になりましたが、姉妹のように家族のように暖かく見守ってくださる郡山の皆様に心より感謝しているこの頃でございます。
 これからも、命のある限り腕まくりして、皆様のお役に立てるよう、がんばって生きてまいりたいと思っております。

2008年度後期イベントから・・・Pickup

2008. 11. 17 ホテルハマツ

大型講演会「ガキの品格」

講師：三田公美子氏



わたしが、三田です！



会長笑顔！うしろの人 必死！
事業委員会の皆様

新年会



2009. 1. 17～18
於：松溪苑

司会のウシで～す



事業委員会

● **会員募集** ●

FLUPでは、女性ならではの感性を研ぎすまし、時代を見よえたる情報の受・発信に取り組み、参ります。新しい仲間の入会を心よりお待ちしております。

入会についてのお問合せ・お申込みは
 TEL(024)535-6188 FAX(024)535-6198
 (株)ウエディングエルティ(手塚)
 mail:party@wlt.co.jp
 http://fjpb08.web.fc2.com/topindex.html



総務委員会



交流委員会？



2009. 3. 17 まとめ例会から
 会長と関根とひみ様とのトーク
 場所：辰柳(郡山)

● 会報「うでまくり」 なまへの由来

古い川柳に「朝雨女の腕まくり」というのがあって、天気の良い朝にパラパラと急に来る雨は、女の腕まくりと同じで意気込みだけ、大したことはない…という意味だとか。ずいぶん見くびられたものですが、それが付け目、女の腕まくりの真価はこれからですよ！という意味も込めて「腕まくり」という名前が付けられました。(広報委員会)

平成21年度前期新入会員

- 4月 吉川 禮子さん
- 4月 橋本 幸江さん
- 4月 菊池美保子さん

編集後記

広報委員会の汗と涙の結晶(うでまくり)第3号ができました。慣れない編集は産みの苦しみ…でも、可愛い子供が一人増えたようです。会員の皆様も、どしどしご意見をお寄せ下さい。会員全員で「うでまくり」を作っていきますよ。(Y)